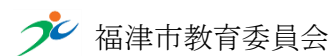


福津市 新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動再開ガイドライン



文部科学省「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン（令和2年3月24日）」の通知を受け、本市では、学校医に相談の上、教育活動再開に向けたガイドラインを作成しました。本ガイドラインを基に、家庭及び各学校においては、学校規模に応じた対応をお願いします。

1 教育活動再開の基本的な考え方

学校の教育活動の再開にあたり、感染リスクの低い活動から実施することが求められます。例えば、教科等の学習指導場面では、できるだけ小集団で密接して会話することなどは避け、手を伸ばして相手に届かない距離をとって会話するなどの配慮が必要ですし、その際も咳エチケットの要領でマスクを使用するなど考えられます。

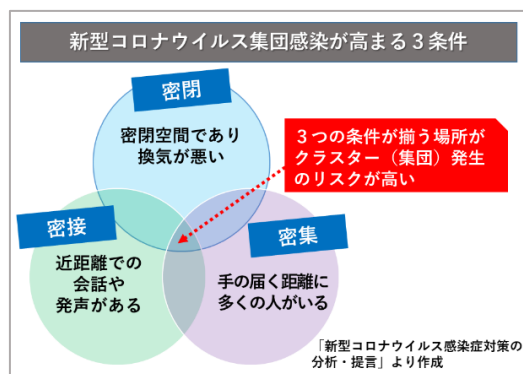
体育科の学習や運動部活動などの教育活動を実施する際は、一度に大人数が密集する運動とならないよう配慮することが必要です。それでもなお、感染リスクの高い一部の実技指導などにおいては、年間指導計画において、指導の順序を入れ替えるなどの工夫が考えられます。また、臨時休業及び春季休業期間中の運動不足にも配慮し、軽めの運動から再開するなどの配慮も必要です。

2 教育活動再開の留意点

教育活動の再開にあたり、感染リスクの低い活動となるように、国の対策専門会議が示すように（下図）、**「3密」**（密閉」「密集」「密接）を避けることが重要です。

この「3密」を避けるために配慮することは、以下の3つです。

- ① 換気の悪い密閉空間にしないために、換気を徹底する
- ② 多くの人が手の届く距離に集まらない（密集状態をつくらない）配慮をする
- ③ 近距離（密接）での会話や発声をできるだけ控えるようにする



学校は、上記の①～③に配慮し、保健管理や環境衛生を良好に保つような取組を進めていくとともに、学校規模や施設等、学校行事における学習活動の特徴に応じて、感染拡大の措置や開催方式の工夫等の措置を講じる必要があります。

さらに、家庭とも連携し、日常的に感染症対策を実施することが求められます。

3 日常的な感染症対策

学校が家庭と連携して実施できる感染症対策のポイントは、以下の3つです。

「感染源を絶つこと」 「感染経路を絶つこと」 「抵抗力を高めること」

1) 感染源を絶つこと

次の方法により、目安として37.0度を超える発熱や風邪の症状がみられる児童生徒は自宅で療養させることを徹底すること

- 家庭と連携した毎朝の検温及び風邪症状の確認
- 登校前に確認できなかった児童生徒については、保健室等での検温及び風邪症状の確認

2) 感染経路を絶つこと

- 手洗いうがい、咳エチケット^{※1}の徹底
- 消毒液による清掃等（よく手で触れる箇所）

3) 抵抗力を高めること

免疫力を高めるために、

- バランスの取れた食事
- 適度な運動
- 十分な睡眠 を心がける



これらのことを学校と家庭が連携し、日常的に取り組んでいくことは、児童生徒一人一人の「行動変容」を促し、感染症防止に対する危機管理意識を高めることにもつながります。

4 教育活動再開のガイドライン（留意事項）

学校は、上記の1～3を踏まえ、以下のガイドラインを基に、自校の規模等（児童生徒数、施設・設備）に応じて対応することが求められます。

- 学校は、学校医及び学校薬剤師等に相談し、保健管理や環境衛生を良好に保つ取組についてアドバイスをもらい、保健管理体制を整えること
 - ※ 多くの児童生徒が手を触れる箇所（ドア、手すり、スイッチなど）は、適宜、消毒液を使用して清掃を行うことが望ましい（消毒液を用いない水拭きも可）
- 登校前に、各家庭で検温等を実施し、児童生徒の風邪症状の確認を行うこと
 - ※ 学校より、各家庭に検温等の健康観察を依頼する
 - ※ 登校前に検温できなかった児童生徒については、保健室等での検温及び風邪症状の確認をする
 - ※ 風邪の症状や目安として、37.0度を超える発熱、だるさや息苦しさがある場合は、登校させず、自宅で休養させる。その場合の欠席は、「欠席扱い」とはせず、「出席停止」の措置であることを保護者に伝えておく。
- 集団感染防止の「3つの条件が重なる場（3密）」を避けること
 - ① 換気の徹底「密閉を避ける」
 - ※ 教室等のこまめな換気（可能であれば2方向の窓を同時に開けること）
 - ② 多くの人が手の届く距離に集まらない配慮「密集を避ける」
 - ※ 学校行事等を実施する際、児童生徒が一堂に会することがないように配慮する
 - ※ 例えば、全校放送後、各学級において指導することが考えられる。
また、換気が可能で、児童生徒の間隔が十分に確保できる場合は、学校規模に応じて、運動場や体育館の実施も可能となる。
 - ※ ただし、運動場や体育館の出入り等において、児童生徒の混雑を避ける工夫が必要である。
 - ※ 短時間で実施できる工夫をする。
 - ③ 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える「密接を避ける」
 - ※ 可能な限り飛沫を飛ばさないよう、マスクを着用したり、咳エチケットを守らせたりする
- 学校給食の実施にあたり、「3密」を避ける工夫を行うこと
 - ※ 手洗いの徹底、配食を行う児童生徒の健康状態の把握、衛生的な服装の確認
 - ※ 飛沫を飛ばさないよう、机の配置の工夫、会話を控えるなどの対応を行う
- 児童生徒にこまめな手洗いうがい等の習慣化を図るよう指導すること
- 日常的に抵抗力を高めるよう、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけるよう指導すること
- 4、5月は、寒暖の差もあるため、児童生徒が体温の調節ができるよう、衣服の調整について指導すること

○ 令和2年度「始業式」実施のガイドライン

教育活動の再開にあたり、令和2年度始業式（4月6日）については、「4 教育活動再開のガイドライン（留意事項）」を踏まえて実施する。

特に、3つの条件（換気の悪い密閉空間、人の密集、近距離での会話等）が同時に重なる場を避けるため、**（1）換気の徹底、（2）密集を避ける工夫（3）近距離での会話等の際にマスクの使用等を行うことが望ましい。**

○ 考えられる「始業式」実施の方法（例）

《学校規模に応じて、実施の方法に工夫が必要》

登校前	<ul style="list-style-type: none">登校前に、各家庭で検温及び風邪症状の確認をする※ 学校より、各家庭に検温等の健康観察を依頼する※ 登校前に検温できなかった児童生徒については、保健室等での検温及び風邪症状の確認をする
登校時	<ul style="list-style-type: none">登校時刻をずらすなど工夫して、児童生徒昇降口での混雑を避ける等の配慮をする。
離任式	<p>A) 晴天（曇天）の場合は、児童生徒の間隔（手の届かない距離）をとって運動場で実施する</p> <ul style="list-style-type: none">※ 昇降口での混雑を避けるため、時間をずらして移動する等。 <p>B) 児童生徒の間隔をとることが可能な場合は、体育館で実施する</p> <ul style="list-style-type: none">※ ただし、体育館の出入りも児童生徒の混雑を避ける工夫をする。※ 離任者の挨拶等を工夫する等、短時間実施を配慮する。※ 換気を徹底する。<input type="checkbox"/> 離任者との握手やハイタッチ等は自粛する。 <p>C) 全校放送で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">※ 教室内のこまめな換気を徹底する。 <p>・長時間の実施を避け、感染症対策の観点から内容を精選する。</p>
学級編成	<ul style="list-style-type: none">学級編成（クラス替え）による教室移動は、混雑を避けるため、移動の時間帯をずらす等の工夫をする。
赴任式・始業式	<ul style="list-style-type: none">離任式の実施の方法に準じる。・長時間の実施を避け、感染症対策の観点から内容を精選する。
下校時	<ul style="list-style-type: none">学年ごとに下校時刻をずらす等、昇降口での混雑を避ける。・帰宅後の手洗い及びうがい、マスクの処分等の注意喚起を行う。

○ 令和2年度「入学式」実施のガイドライン

令和2年度入学式の実施にあたっては、「4 教育活動再開のガイドライン（留意事項）」を踏まえるとともに、**原則として「令和元年度卒業証書授与式」に準じるものとする。**

(1) 実施日及び場所並びに時間設定について

① 実施日

- 小学校：令和2年4月10日（金）
- 中学校：令和2年4月9日（木）

② 場所

- 体育館（換気をこまめに行うこと）
（可能であれば、出入り口に消毒液を設置し手指消毒を促す）

③ 時間設定

- 式は、30分程度とする
- 教室での担任の話は、短時間で実施できるよう内容を精選する。
※ 学校規模に応じて、開始時刻と終了時刻を適切に定める。

(2) 参列対象者

- 入学児童生徒、保護者1名程度（学校規模に応じる）、教職員、
（在校生^{*2}）、教育委員会、その他、校長が認めた者
- 来賓の参列は見送る

(※2 在校生の参列については、学校規模に応じて適切に判断するものとする。
例えば中学校においては、生徒会のみ参列や、小学校においては、
6年生児童の代表または、2年生児童の代表など参列が考えられる。)

(3) 式次第

- 30分程度で終了することを踏まえて、各学校にて工夫する。
- 教育委員会告示は、卒業式同様に文書を配布する。

(4) その他

- 小学校で写真撮影（集合写真）を行う場合は、「3密」を極力避けるよう、
学校規模に応じて適切に判断する。

□ 式終了後のPTA入会、役員選出等について

- ・当日実施するか、別日を設けて実施するかは、学校において判断する。
- ・当日実施する場合は、説明等を必要最小限にとどめ、わからない点は、
必要に応じて個別に対応する等の措置をとる。

本「チェックリスト」は、「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」に沿った対応状況を各学校で確認する際の参考として作成したものです。

参考

新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン

《教師用チェックリスト》

- 児童生徒等及び教職員の毎朝の検温，風邪症状の有無等の確認を行う準備ができていますか？
- 手洗いや咳エチケットの指導を行いましたか？
- 学校医，学校薬剤師等と連携した保健管理体制を整え，清掃などにより環境衛生を良好に保っていますか？
- 抵抗力を高めることが重要であることの指導を行いましたか？
- 3つの条件（換気の悪い密閉空間，人の密集，近距離での会話等）が同時に重なる場を避けるため，(1)換気の徹底(2)近距離での会話等の際にマスクの使用等を行うことを教職員の間で確認しましたか？
- 臨時休業に伴う学習の遅れに関する対応策について検討しましたか？
- 入学式や始業式等の学校行事の実施方法を工夫しましたか？
- 部活動の実施にあたり，実施内容や方法を工夫した上で，感染防止のための対応を行いましたか？
- 学校給食の実施にあたり，感染防止のための工夫を行いましたか？
- 放課後児童クラブ等のための教室等の活用について検討しましたか？